

相馬高等学校 沿革

- 明治31. 4. 1 創立 福島県第四尋常中学校と称する。
- // 31. 5. 7 中村尋常小学校の一部を仮校舎として授業開始、第1学年生徒数162名
この日を創立記念日とする。
- // 32. 4. 1 福島県第四中学校と改称
- // 32. 4. 9 第1期建築完成本校舎に移る。さらに第2期第3期と工事続行完成する。当時の校地総計3町5畝18歩
- // 34. 4. 1 福島県相馬中学校と改称
- // 34. 4. 27 福島県立相馬中学校と改称
- // 35. 2. 25 寄宿舍2棟新築落成開舎 舎生100名余
- // 36. 3. 30 第1回卒業生55名を出す。
- // 36. 4. 馬城会設立
- // 41. 10. 校歌制定
- // 43. 11. 3 校旗制定
- 大正 2. 5. 7 創立15周年記念式
- // 8. 募集定員150名
- // 9. 校舎1棟増築
- // 10. 12. 13 寄宿舍1棟焼失
- // 12. 校舎1棟増築
- // 12. 5. 7 創立25周年記念式
- 昭和 5. 3. 舎生減少のため寄宿舍廃止
- // 8. 12. 16 創立35周年記念事業として馬城会発起による講堂建設
- // 14. 8. 6 馬城会改組 会長 折笠晴秀
- // 16. 5. 16 学級増加により旧寄宿舍を教室に改築落成 定員200名
- // 19. 7. 15 戦争苛烈となり学徒の勤労動員はじまる。5年生福島方面、3年生横須賀方面、4年生川崎方面に次々に出動、長きは終戦時まで滞在服務
- // 20. 4. 17 3年生石川方面に勤労動員
- // 20. 8. 15 終戦 この直前校舎の渡り廊下取り壊し作業はじめ、且つ重要書類を疎開
- // 21. 1. 11 汽車の遅延甚だしく通学不便につき、この日より小高、原町、鹿島、山下に臨時分校を開設。但し冬期のみとする。(翌年も同様)
- // 23. 2. 24 保護者会よりPTAとなり新発足
- // 23. 4. 1 学制改革により福島県立相馬高等学校設立(全日制普通科)、併設中学校をおく。
- // 23. 5. 7 創立50周年記念式、馬城会の事業の一つとして郷土博物館設立準備に着手、郷土室設置
- // 24. 3. 5 高等学校第1回卒業式、中学校第48回卒業式
- // 24. 4. 1 一部総合制実施により、普通科、商業科設置。募集定員普通科150名、商業科50名
- // 25. 4. 1 定時制課程設置により、新地高等学校中村分校を本校に合併、定時制募集定員農業科、夜間普通科、家庭科別科合計して200名増となる。校舎改築により教室を増設
- // 26. 4. 1 新地高等学校廃止、本校の新地農業部となる。本校生徒の募集定員総数400名となる。
- // 28. 10. 25 相馬高等学校改築期成同盟発足
- // 30. 4. 1 本校の定時制家庭科別科を相馬女子高校に、農業科を本校新地農業部に移す。随って全日制普通科募集定員150名、商業科50名、定時制夜間普通科40名となる。
- // 31. 4. 16 校舎改築29年度分及び30年度分竣工(第1期工事、鉄筋コンクリート3階建260坪、理科関係各室、電源室)
- // 32. 4. 1 全日制普通科定員200名となる。
- // 32. 4. 6 校舎改築31年度分竣工(第2期工事 267坪)
- // 33. 5. 31 校舎改築32年度分竣工(第3期工事 173坪)

- // 34. 2. 10 校舎改築33年度分竣工（第4期工事 114坪）
- // 34. 12. 30 校舎改築34年度分竣工（第5期工事 227坪）
- // 35. 4. 1 募集定員普通科150名となる。
- // 36. 4. 1 定時制夜間普通科募集停止
- // 36. 10. 18 校舎改築35年度分竣工（第6期工事 286坪）
- // 37. 2. 7 校舎改築36年度分竣工（第7期工事 29坪）
- // 37. 3. 31 校舎改築グラウンド整備工事完成（約3,000坪）
- // 38. 4. 1 募集定員普通科220名、商業科55名となる。
- // 39. 2. 25 相馬一猪苗代線道路拡張工事に伴い本校敷地200坪減、同保証費により正門並びにパイプ塀・防火水槽完成（旧正門の石材で裏門を改造）同年度中、中庭及び前庭整備
- // 39. 3. 1 定時制夜間普通科4年生卒業、定時制廃止
- // 39. 4. 1 新地農業部廃止、福島県立新地高等学校設置
- // 40. 7. 22 体育館竣工（1,200 m²）
- // 43. 4. 1 募集定員普通科208名、商業科52名となる。
- // 43. 5. 7 創立70周年記念・校舎改築落成祝賀式挙行政
- // 44. 1. 4 図書館竣工（225 m²）
- // 44. 3. 17 柔剣道場竣工（326 m²）
- // 44. 4. 1 商業科募集停止、理数科設置、募集定員45名、普通科募集定員196名となる。
- // 45. 4. 1 募集定員普通科188名となる。
- // 45. 8. 5 プール（25 m、7コース）竣工
- // 46. 4. 1 募集定員 普通科184名、理数科42名となる。
- // 47. 4. 1 募集定員 普通科180名、理数科40名となる。
- // 53. 3. 31 創立80周年記念校歌碑建立
- // 53. 5. 7 創立80周年記念式典挙行政
- // 58. 2. 23 理数科定員臨時増3名、58年度入学募集定員普通科180名、理数科43名となる。
- // 58. 5. 30 校訓制定 誠実・剛健・博愛
- // 59. 4. 9 福島県教育委員会より昭和59～60年度研究推進校（生徒指導）の指定を受ける。
- // 59. 9. 9 馬城会館落成式挙行政（鉄筋コンクリート2階建463.1 m² 工事費59,485,000円）馬城会より9月6日県へ寄付採納
- // 60. 4. 1 普通科暫定増8名、理数科暫定増2名で普通科定員188名、理数科定員42名となる。
- // 60. 11. 5 福島県教育委員会指定研究発表「高校生活を充実させるためのホームルームの進め方」
- // 62. 2. 25 理数科定員臨時増2名で、62年度募集定員は普通科180名、理数科42名となる。
- // 63. 4. 1 63年度募集定員暫定増で普通科定員188名、理数科定員42名となる。
- // 63. 9. 2 創立90周年記念式典挙行政
- 平成 2. 4. 1 平成2年度募集定員暫定増で普通科定員188名、理数科定員42名。推薦入学者選抜制度発足。
- // 3. 4. 1 募集定員 普通科180名、理数科40名となる。
- // 4. 1. 25 校舎改築期成同盟発足（会長 相馬市長）
- // 6. 3. 22 家庭総合実習室竣工（225 m²）
- // 8. 4. 1 募集定員 普通科160名、理数科40名となる。
- // 10. 5. 2 創立百周年記念事業として、「創立100周年記念演奏会」が開かれる。
- // 10. 6. 1 福島県教育委員会学校改革計画に基づく、男女共学化、校舎改築に対応する学校改革検討委員会が発足。
- // 10. 10. 3 創立百周年記念式典挙行政。記念講演会（講師・東北大学総長 安部博之氏）
- // 12. 1. 24 馬城会寄贈の「若駒会館」着工。
- // 12. 3. 25 創立百周年記念事業として「相高100年の美術展」が開かれる。
- // 12. 9. 26 「若駒会館」竣工。（鉄筋コンクリート平屋建162.62 m² 工事費28,407千円）馬城会より寄付採納。
- // 13. 9. 12 新校舎建築のため図書室等校舎の一部取り壊し。

- 〃 13. 10. 15 新校舎改築工事着工。
- 〃 14. 4. 1 学校改革に伴い二期制とする。新校訓「至誠」制定。
- 〃 14. 5. 29 学校評議員会開催（第一回）。
- 〃 15. 3. 19 新校舎改築工事竣工（鉄筋コンクリート造、一部プレキャスト造3階建11,819㎡）県より引き渡しされる。
- 〃 15. 3. 26 新校舎への移転（～28）
- 〃 15. 4. 1 普通科男女共学化。1学級増となり、募集定員普通科200名、理数科40名となる。
- 〃 15. 4. 8 普通科男子115名女子85名、理数科男子19名女子21名入学する。
- 〃 15. 5. 7 馬城会寄贈の音楽堂陶壁画「春の若駒」除幕式。
- 〃 15. 9. 26 宝生流能楽師による能舞台のこけら落とし。
- 〃 15. 10. 8 グラウンド整備着工。
- 〃 15. 10. 27 旧校舎解体工事完了。
- 〃 16. 3. 31 旧相馬東高校施設が引き渡しされる。
- 〃 16. 4. 15 文部科学省よりスーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）の指定（3年間）を受ける。
- 〃 16. 7. 16 グラウンド整備工事竣工。
- 〃 16. 10. 8 新校舎落成記念式典挙行。
- 〃 17. 4. 1 各学年が普通科5学級、理数科1学級の計6学級となる。計18学級・定員720名。
- 〃 17. 7. 22 小和田恒氏（皇太子妃雅子様父・国際司法裁判所判事）が、「相馬中学時代の父と教育～若い人たちへメッセージ～」と題し、相馬市民会館で講演。
- 〃 18. 3. 1 平成15年度の普通科男女共学化後初めての卒業生計231名。普通科193名（男114名・女79名）、理数科38名（男18名・女20名）
- 〃 19. 4. 1 文部科学省よりスーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）の継続指定（2年間）を受ける。
- 〃 20. 5. 4 創立110周年記念事業として「記念吹奏楽部演奏会」が開かれる。
- 〃 20. 8. 4 創立110周年記念事業として「体育館遮光幕「天翔る春の若駒」設置。
- 〃 20. 9. 22 創立110周年記念事業として「相馬高校OB書道展」が開かれる。
- 〃 20. 9. 27 創立110周年・校歌制定100周年記念式典挙行。
記念講演会（講師・明治大学理事長 長堀守弘氏）
- 〃 21. 1. 13 創立110周年記念事業として「記念誌「紅の旗」」発刊。
- 〃 21. 6. 19 科学技術振興機構（JST）のパートナーシッププロジェクト（SPP）サイエンスに採択される。
- 〃 21. 7. 29 バレーボール部が高校体育大会全国大会でベスト8に入る。
- 〃 22. 11. 5 校旗制定100周年を祝う会実施。
- 〃 23. 3. 11 東日本大震災により被災。
- 〃 23. 5. 9 サテライト校（原町高校）が本校舎内で開設。
- 〃 23. 5. 12 サテライト校（相馬農業高校）が第二体育館内で開設。
- 〃 23. 6. 26 バレーボール部が東北高校選手権で初優勝。
- 〃 23. 8. 10 第二校舎敷地内にサテライト校仮設校舎が建設、原町高校（一部）、相馬農業高校及び小高工業高校の3校が移転。
- 〃 23. 8. 23 築地本願寺寄贈の冷房設備（エアコン）を普通教室に設置。（～24年）
- 〃 24. 4. 1 1学級減となり、募集定員普通科160名、理数科40名となる。三期制となる。
- 〃 25. 7. 22 放送局がJCJ（日本ジャーナリスト会議）特別賞を高校生として初めて受賞。
- 〃 25. 7. 25 放送局が第60回NHK杯全国高校放送コンテスト「テレビドキュメント部門」で優勝。
- 〃 25. 11. 8 本校舎・第二校舎・川原町グラウンドの除染実施。
- 〃 26. 5. 22 築地本願寺寄贈の冷房設備（エアコン）を特別教室に設置。

相馬高等学校 歴代校長

	氏 名	就任年月日	転退年月日	備 考
1	佐藤 慶次	明治 31. 4. 1	明治 32. 3. 8	
	山崎 一清	〃 32. 3. 11	〃 32. 3. 18	校長事務取扱
	木村 寔	〃 32. 3. 18	〃 32. 3. 28	校長事務取扱
2	木村 寔	〃 32. 3. 28	〃 35. 6. 19	
3	重野 健造	〃 35. 6. 19	〃 38. 3. 31	
	福原 統五郎	〃 38. 3. 31	〃 38. 6. 10	校長事務取扱
4	広江 万次郎	〃 38. 6. 11	〃 40. 4. 22	
5	多田 綱宏	〃 40. 5. 23	〃 43. 5. 17	
6	野村 浩一	〃 43. 6. 10	〃 45. 5. 24	
7	桜井 賢三	〃 45. 5. 24	大正 3. 2. 3	
8	滑川 一郎	大正 3. 3. 19	〃 10. 3. 31	
9	千秋 穂三郎	〃 10. 3. 31	昭和 4. 6. 6	
10	長谷 訥造	昭和 4. 6. 6	〃 6. 3. 31	
11	今村 武男	〃 6. 3. 31	〃 7. 4. 16	
12	羽曾部 千代八	〃 7. 4. 16	〃 9. 10. 19	
13	浅水 成吉郎	〃 9. 10. 30	〃 12. 3. 31	
14	渡部 乙彦	〃 12. 4. 5	〃 16. 4. 4	
15	吉田 広佐	〃 16. 4. 7	〃 19. 3. 31	
	林 宗男	〃 19. 4. 1	〃 19. 5. 18	校長事務取扱
16	宮本 行二	〃 19. 5. 18	〃 23. 10. 30	
17	佐藤 広治	〃 23. 10. 30	〃 25. 3. 31	
18	鈴木 久義	〃 25. 4. 12	〃 28. 3. 31	
19	小池 元吉	〃 28. 4. 1	〃 32. 3. 31	
20	佐々木 一郎	〃 32. 4. 1	〃 33. 3. 31	
	松田 一	〃 33. 2. 1	〃 33. 3. 31	校長事務取扱
21	津田 悌	〃 33. 4. 1	〃 35. 4. 1	
22	半沢 富雄	〃 35. 4. 4	〃 36. 4. 1	
23	持館 泰	〃 36. 4. 1	〃 44. 3. 31	
24	富田 重延	〃 44. 4. 1	〃 47. 3. 31	
25	山本 敬二郎	〃 47. 4. 1	〃 50. 3. 31	
26	高橋 哲夫	〃 50. 4. 1	〃 51. 3. 31	
27	鈴木 一	〃 51. 4. 1	〃 53. 3. 31	
28	六角 宏	〃 53. 4. 1	〃 56. 3. 31	
29	古川 正二	〃 56. 4. 1	〃 59. 3. 31	
30	渡邊 一朗	〃 59. 4. 1	〃 62. 3. 31	
31	齋藤 信夫	〃 62. 4. 1	平成 元. 3. 31	
32	佐久間 貞良	平成 元. 4. 1	〃 4. 3. 31	
33	荒 重富茂	〃 4. 4. 1	〃 7. 3. 31	
34	藤本 忠平	〃 7. 4. 1	〃 10. 3. 31	
35	勝間田 敏男	〃 10. 4. 1	〃 12. 3. 31	
36	志賀 英信	〃 12. 4. 1	〃 14. 3. 31	
37	佐藤 忠夫	〃 14. 4. 1	〃 17. 3. 31	
38	遠藤 宏之	〃 17. 4. 1	〃 20. 3. 31	
39	日下部 文紀	〃 20. 4. 1	〃 23. 3. 31	
40	二本松 義公	〃 23. 8. 1	〃 25. 3. 31	
41	日高 裕志	〃 25. 4. 1	〃 28. 3. 31	
42	横山 隆	〃 28. 4. 1		